

## 令和元年度学校関係者評価委員会からの評価を受けての改善策

### 1 総合的な取り組み

全項目の8割弱が昨年度評価を上回る結果となり、近年の取り組みの成果が表れてきているものとする。しかしながら、「学習成果」「学生支援」は評価3に達していない項目が5割超あることから、今後は具体的な実施計画を策定し実行していく。また、安定した学校運営に向けて、学生確保の方策をあらゆる面から検討し、組織一丸となって早急に取り組む。

### 2 各項目の改善策

#### (1) 教育理念・目標

- ①アドミッションポリシーに基づき、引き続き入学者選考を行う。
- ②ホームページの効果的な運用等や高校との連携により、本校の理念や特色等をさらに発信していく。

#### (2) 学校運営について

- ①情報システム化等については多くの課題があるため学校内だけでなく学園全体で取り組み積極的にICTの活用を進める。
- ②教員の資質向上のため最新の知識や技術等の情報収集を行い、教育内容及び指導方法について次年度に向けて研究を行う。

#### (3) 教育活動

- ①教員の資質向上のため最新の知識や技術等について引き続き情報収集を行う。
- ②指導方法や教育内容について研究を行うとともに学生のためのカリキュラムの改正を進める。

#### (4) 学修成果

- ①次年度に向け国家試験対策の内容を検討し早期に対策を講じる。
- ②同窓会活動を支援し、学校と卒業生との連携を進める。また、卒業生の状況を把握し教育活動に生かしていく。
- ③その他の資格取得について検討し、新たな資格の取得が可能となるよう取り組む。

#### (5) 学生支援

- ①選ばれる学校を目指し、学生支援について具体的な方法を検討し実行する。

②高校との新たな連携について研究するとともに、本校の特色、アピールポイントを明確にし、高校との新たな連携について検討し実施していく。また、生徒及び保護者に効果的に情報提供を行う方策を検討し進めていく。

#### (6) 教育環境

①関係機関と十分な連携を図り、防災マニュアルに沿って実情に即した体制を整備する。

②教育設備等については短期・中期計画を策定し、IOT、ICTの導入も踏まえ予算を確保する。

③施設等との更なる連携により効果的な教育内容を展開する。

#### (7) 学生の受け入れ募集

①近年入学者数が減少していることから新たな取り組みの検討やホームページのリニューアルなども含め様々な検討を早急に行い実施しているする。

②学福連携プロジェクトのメリットを広く周知し、地域の介護福祉士を増やす取り組みをさらに進める。

③入学者が減少傾向であるため、早急に現状に即した学生募集活動を検討し改善を行う。

④地域圏域の介護サービス事業者との連携により、継続して留学生の受け入れを行う。

#### (8) 財務、

①引き続き魅力ある学校づくりに取り組み生徒募集に努め、安定した学校運営を目指す。

②学生数の減少により収入が減少していることから財務状況が悪化しているため大幅な支出の見直しを行うとともに、学生確保において必要な予算を確保する。

③安定的な財源確保の方策を研究し収入増を検討する。

#### (9) 法令遵守

①リスク管理の面からもさらに徹底して法令遵守に努める。

#### (10) 社会貢献・地域貢献

①地域に根差した学校とする為にも地域とつながる手段としてボランティア活動は有効であることから、今後も学校の取り組みとして推進する。

②地域に対する公開講座等が減少しているため近隣の学校や団体等との協働を働きかけていく。

③地域との連携を進めるにあたり、地域団体や学校、企業等との交流の場を設ける。